

# 新聞に掲載されました！

第 57 回北海道・函館ホームステイ研修会の活動が新聞に掲載されました。

【2010 年 12 月 7 日（火） 函館新聞】



2010年  
(平成22年)

12月7日(火)

発行所／函館新聞社

〒041-8540 函館市港町1丁目17番8号

電話 ④32121 F A X ④33131

販売局 ④04141 F A X ④07744

## 函館の思い出いっぱい

ホームステイの留学生  
滞在の家庭とお別れ会



別れの寂しさを胸に、ホームステイの成功を祝って乾杯する留学生とホストファミリー

北海道国際交流センター（HIF）は5日、「冬の函館ホームステイ」（共立国際交流奨学財団主催）で函館を訪れていた26人の留学生を囲んで「さよならパーティー」を開いた。オードブルやのり

巻きなどを食べながら、滞在中の写真をスクリーンに写し、思い出を語り合った。ホームステイは函館市と近郊の18家庭が留学生らを受け入れ。一般家庭では3日から2泊3日で行われ、留学生ら

は各家庭でさまざまな体験をした。

ホームステイ先でそば打ちに挑戦した胡天存（コ・テンソン）さん（中国出身）は「日本は4年目だが函館に来たのは初めて。いろいろな体験ができ、楽しかった。夜景の美しさにも感動した」、日本に来てまだ2カ月という張銀甄（チャン・インジュン）さん（マレーシア出身）は「海産物のおいしさにびっくり。生のウニを初めて食べた。ホームステイ先で牛を飼っていたので、初めて見る牛にも驚いた。楽しい函館滞在でした」と笑顔。

2人の中国出身留学生を受け入れた津村和子さんは、家族とともに五稜郭タワーや箱館奉行所など市内をめぐり、大沼まで足を延ばしたという。津村さんは「中国と日本ではおじぎの習慣が異なることに驚いた。ジンギスカンを喜んで食べてくれたのが印象的。貴重な経験ができました」と話していた。

（堀内法子）



懸命にピンを振ってバターを作る留学生



# 《振って》疲れてでもおいしい

関東地方の大学や専門学校で学ぶ留学生が3日、函館牛乳(函館市中野町)を訪れ、バター作りを体験した。  
(押野友美)

留学生は中国、台湾、タイ、マレーシア、ベトナム、韓国からの26人。共立国際交流奨学財団と北海道国際交流センターが主催する研修会で2日から7日まで函館を訪れている。

函館牛乳では金子健治常務らの指導のもと、バター作りに挑戦。留学生は生クリームをいれたピンを氷水に浸したタオル

## 函館牛乳 留学生、バター作り

で包み、それを上下に12、13分振ってバターを作った。

完成後、留学生はパンに塗るなどして自分で作ったバターの味を試食。ベトナムからの留学生グエン・ティ・タン・タオさん(23)は「手がとても疲れただけにおいしい。貴重な経験になりました」と話していた。

完成後は搾乳の様子などを映した函館牛乳のビデオを鑑賞し、金子常務から酪農の話聞いた。

このほか、3日は鱒川小中学校で児童や生徒と交流したほか、トラピスチヌ修道院も見学した。